

2017年6月20日

報道関係各位

大和リビングマネジメント株式会社  
東京電力パワーグリッド株式会社

## 賃貸住宅の快適な住環境を実現する IoT エネルギー管理システム構築に関する共同実証試験開始

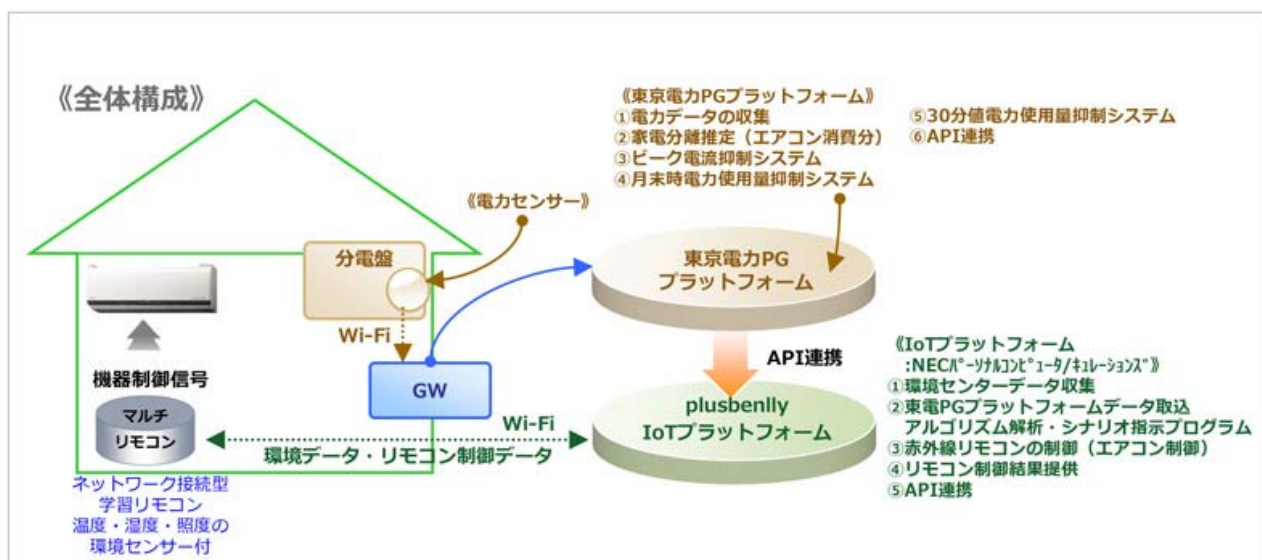
大和ハウスグループの大和リビングマネジメント株式会社（本社：東京都江東区、社長：明石昌、以下「大和リビングマネジメント」）と東京電力パワーグリッド株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：武部俊郎、以下「東電 PG」）は、本年8月1日から、大和リビングマネジメントがサブリース事業を展開する賃貸住宅内で、IoT<sup>※1</sup>を用いたエネルギー管理システム（以下「本システム」）構築に関する共同実証試験を開始します。

両社は本システムの構築により、賃貸住宅における生活快適性の向上とエネルギーの最適利用を目指します。

※1. Internet of Things（モノのインターネット）の略。従来ネット接続されなかった機器やセンサーをつなぎ、付加価値サービスを提供するもの。

### ■共同実証試験の概要

本年8月1日から3ヶ月間、賃貸住宅入居者50世帯の協力を得て、住戸ごとに電気の使用状況や家電製品別の利用情報を抽出できる専用の電力センサーと、住戸内の温度や湿度などを測定する環境センサー付マルチリモコンを設置します。



東電 PG は、専用の電力センサーから得られる電気の使用状況から電気の使用量を予測する分析アルゴリズム<sup>※2</sup>を有する、IoT プラットフォーム<sup>※3</sup>を開発します。

また、大和リビングマネジメントは、東電 PG が提供する電気の使用状況ならびに分析アルゴリズム結果や、環境センサー付マルチリモコンから得られる温度や湿度などの情報を、大和リビングマネジメントが提携している IoT プラットフォーム「plusbenlly (プラスベンリー) <sup>※4</sup>」に取り込み、エアコンなどの家電製品を自動で運用・制御する機能を開発します。

両社はこれら 2 つのプラットフォームの連携により、家電製品を自動で運用・制御するノウハウに加えて各プラットフォームの有効性を検証し、本システムの賃貸住宅への本格導入について検討していきます。

※2. 問題を解決するための方式や手順のこと。

※3. 東電 PG、株式会社日立製作所、パナソニック株式会社が 2016 年 11 月から 2017 年 3 月に実施した共同実証試験で構築したもの。今後、東電 PG とインフォメティクス株式会社がこれを活用したサービスの実現に向けた検証を行う。

※4. NEC パーソナルコンピュータ株式会社とキュレーションズ株式会社が共同開発中のもの。

- ・実施期間 2017 年 8 月 1 日～10 月 31 日 (3 ヶ月間)
- ・実施地域 関東および関西地区
- ・協力 大和リビングマネジメントがサブリース事業を展開する賃貸住宅入居者 50 世帯

## ■今後の展開

将来的に両社は、本システムと音声認識端末を連携させ、音声による家電製品のコントロールや快適な睡眠環境の実現に向け、電気の使用状況などから得られた情報に基づき、生活リズムを生かした家電製品の自動運用・制御についての実験や検討も行う予定です。

また、本システム構築により、大和リビングマネジメントは環境に配慮した住環境の提供や家賃と光熱費をセットにした賃貸モデルを可能にするとともに、IoT にかからむ個人情報漏洩リスクやサイバー攻撃に関わる保険商品<sup>※5</sup>など、豊かな賃貸ライフの実現に向けた方策を検討します。

大和リビングマネジメントと東電 PG は、快適で地球に優しい住環境を提供するとともに、安心・安全な暮らしの実現に貢献していきます。

※5. 大和リビングマネジメントが東京海上日動火災保険株式会社と共同開発するもの。

以 上

お問い合わせ先		
大和リビングマネジメント株式会社	広報・販促室	03-5500-6513
東京電力パワーグリッド株式会社	総務・広報グループ	03-6363-1305